

ワケ カタチには理由がある(87)

Shape follows Function & Taste

～デハビラント・カナダ DHC-2 ビーバー～



<先駆者ヌーアダイ・ノースマンと→>

カナダのデハビラント・カナダ社が製造した軽輸送機です。デハビラント・カナダは、1928年に創立された英国デハビラント社の子会社で、第二次世界大戦中は、モスキート爆撃機などを生産しヨーロッパへ届けていました。このビーバーは1947年に初飛行し、世界中で広く使用されています。特に、米国陸軍は、UC-64の後継機として採用し、朝鮮戦争を含めて970機が使用されています。日本でもフロート付きの機体が「宗谷」に積み込まれて、南極観測隊によって使用されています。UC-64と並べてみると、その仕様はととてもよく似ています。カナダの軍用車両については、本連載(16)(17)(32)で取り上げましたが、飾りのない、質実剛健な設計は、これらカナダ製の飛行機にも共通するように思われます。使い勝手の良い軽輸送機を作ったらこうなる、という、インダストリアルデザインのお手本のような機体であると感じます。

【模型について】

英国のエアフィックス (AIRFIX) 社の1/72のインジェクションキットです。このキットも、機体同様、1974年版のプラモガイドに掲載されてる古いものですが、いまでも、たまに再販される優良キットです。表面のリベット表現が多少うるさく、実機写真を見てもこれほどリベットは無いように思いますが、模型としては、味なのでそのまま作成しました。

(中川裕幸 2023年3月)